

貸 借 対 照 表

(平成 25 年 12 月 31 日現在)

株式会社インディペンデント

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【39,785】	【流動負債】	【6,800】
現金および預金	38,893	買掛金	11
売掛金	892	未払金	1,599
		未払法人税等	144
		未払消費税等	470
		前受金	97
【固定資産】	【2,611】	預り金	413
(有形固定資産)	5	前受収益	4,064
工具器具備品	5	負債合計	6,800
(投資その他の資産)	2,605	純 資 産 の 部	
投資有価証券	2,595	【株主資本】	【35,596】
出資金	10	資本金	38,355
		利益剰余金	△ 2,759
		その他利益剰余金	△ 2,759
		純資産合計	35,596
資産合計	42,397	負債・純資産合計	42,397

損 益 計 算 書

（自平成 25 年 1 月 1 日至平成 25 年 12 月 31 日）

（単位：千円）

科 目	金 額	
【売上高】		
アドバイザー事業売上	1,553	
会員事業売上	20,366	
その他事業売上	624	22,544
【売上原価】		
当期仕入高	4,004	
労務費	4,156	
経費	2,096	
旅費交通費	1,957	12,215
売上総利益		10,329
【販売費および一般管理費】	9,429	9,429
営業利益		900
【営業外収益】		
受取利息	5	
受取配当金	168	
雑収入	76	250
経常利益		1,150
【特別損失】		
投資有価証券評価損	19	
投資有価証券除却損	0	19
税引前当期純利益		1,130
法人税、住民税および事業税		180
当期純利益		950

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

（自平成 25 年 1 月 1 日至平成 25 年 12 月 31 日）

（単位：円）

	株主資本					純 資 産 合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
平成 25 年 1 月 1 日残高	49,810	0	0	△21,454		28,355
誤 謬 の 訂 正 に よ る 累 積 的 影 響 額				△3,709		△3,709
遡 及 処 理 後 の 平成 25 年 1 月 1 日残高	49,810	0	0	△25,164		24,645
当 期 変 動 額						
新 株 の 発 行	5,000	5,000				10,000
減 資	△16,454	△5,000	21,454			0
欠 損 補 填			△21,454	21,454		0
当 期 純 利 益				950		950
株主資本以外の項目の当期 変 動 額（純 額）						0
事 業 年 度 中 の 変 動 合 計	△11,454	0	0	22,405		10,950
平成 25 年 12 月 31 日残高	38,355	0	0	△2,759		35,596

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1). 有価証券の評価基準及び評価方法

そ の 他 有 価 証 券

時 価 の あ る も の …… 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時 価 の な い も の …… 移動平均法による原価法

(2). 固定資産の減価償却の方法

有 形 固 定 資 産 …… 定率法

(3). その他計算書類作成のための

基 本 と な る 要 項

消 費 税 の 会 計 処 理 …… 税抜方式を採用している。

2. 誤謬の訂正に関する注記

当事業年度において会計上の誤謬が判明いたしました。この誤謬を訂正するため、期首の利益剰余金を減額させております。

これにより、当事業年度の期首の純資産の額につき、利益剰余金が 3,709 千円減少しております。主たる要因は、インデペンデンツクラブ会費収入の前期売上金額 3,159 千円を、前受収益へ振替処理した事によります。

3. 株主資本等変動計算書に係る注記

(1). 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数

株式の種類	前事業年度末 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式	4,981 株	1,000 株	—	5,981 株
普通株式	4,981 株	1,000 株	—	5,981 株
自己株式	—	—	—	—
普通株式	—	—	—	—

監 査 報 告 書

株 式 会 社 インディペンデンツ
代表取締役 國 本 行 彦 殿

平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの第 8 期事業年度の取締役の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成 26 年 3 月 20 日

株 式 会 社 インディペンデンツ
監 査 役 三田村 典昭 (印)

以 上